2025年1月14日

第37回日本高齢者大会と第33回ゆたかな高齢期を
めざす東京のつどいを成功させる東京実行委員会

第33回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどい実施要綱

1　ねらい

　衆議院選挙での与党過半数割れ、改憲勢力2/3割れという情勢の大きな変化の中で、すべての世代が力を合わせ、社会保障を自己責任から公共へ、安全保障を軍事から外交へ、改憲策動を許さず憲法を生かす政治へと転換し、高齢者をはじめすべての人が安心して暮らせる社会をめざす大きな運動を呼びかける

　情勢を学び運動を交流し励まし合う

2　基本構想

　全体会は、介護の問題を中心に学び。地域の運動を交流し、元気の出る大集会にする

　学習講座、分科会は、当面の重要な問題を学習し、だれもが安心して暮らし続けられるまちづくりをめざす団体地域の取り組みを交流する

3　名称

　第３３回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどい

4　スローガン

　安心して住み続けられるまちづくりをめざして

5　主催

　第３７回日本高齢者大会と第３３回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどいを成功させる東京実行委員会（東京実行委員会）

6　実行委員会体制

　実行委員長　千野 律子（東京高齢期運動連絡会会長）
　事務局長　　菅谷 正見（東京高齢期運動連絡会事務局長）
　事務局体制　東京高齢期運動連絡会事務局＋各団体に参加を求める
　実行委員会には、東京高齢期運動連絡会未加盟にも参加を呼びかける

7　開催時期と会場

　全体会は、２５年２月２６日（水)、13：30～16：15
　立川たましんRISURUホール（立川市民会館）
　分科会は、全体会の前後１週間程度を基本に、担当ごとに検討し日時を設定

8　参加目標

　全体会1,000人の参加をめざす
　各分科会、学習講座にも広範な参加をよびかける

9　全体会

1）内容

(1)　記念講演　上野千鶴子さん
(東京大学名誉教授。ウィメンズアクションネットワーク理事長)
・　高齢者が社会に目を向け、前向きに生きることを励ますような講演を期待。
目的　超高齢社会の中で最も大きな問題の一つである介護問題。政府は「介護の社会化」を掲げ、介護保険を導入したが、国民・高齢者の人権を踏みにじり、介護保険を改悪し続けている。このままでは強行されかねない介護保険の改悪を高齢者が怒りをもって、現役・青年にも呼びかけ、自分事として反対しなければ介護保険も社会保障も崩壊しかねない。これまでも運動の高まりが改悪を食い止めてきた。いま、求められる運動とは、を考える。
ポイント
・　高齢者が孤立している、させられている。これにどう対応していくのか、乗り越えていくのか。「おひとりさま」の視点と行動を学ぶ。
・　高齢期の問題である介護。それを支えるための介護保険。それが改悪の危機、存続の危機にさらされている。その改悪の内容とは、改悪を食い止める運動に何が求められるのか。
(2)　地域からのスピーチ
(3)　基調報告
(4)　文化行事
(5)　プログラム内容素案
開会あいさつ　千野　実行委員長
基調報告　　菅谷　事務局長
記念講演　　上野千鶴子さん
仮題「どうする　どうなる介護保険～おひとりさまの老後が　アブナイ」
質疑応答
文化行事　　合唱・演奏
活動報告
集会アピール
閉会のあいさつ　早川　事務局次長

2)　全体会はWeb配信を行う。Web参加の要領は、ホームページに掲載
(1)　全体会はリアル参加を推奨する。特に三多摩はリアル参加に重点を置く
(2)　Webは、ステージ全景固定カメラを基本にし、簡単な配信方式で行う
配信形式はYoutube限定配信
(3)　講師当日資料がある場合は、できるだけ前日までに。東京高齢期運動連絡会のホームページにアップし、Web会場、Web参加者は、そこからダウンロードしてもらうようにする。

10　現在準備されている東京のつどい分科会(分科会ごとに日程を設定)
1)第1分科会　だれもが安心して住み続けられるまちづくり　窓口団体　東京民医連
2月8日(土)10:00～12:00　東京労働会館 民医連研修室（60名）
2) 第 1 学習講座　健康で文化的な最低限度の生活を営む権利
講師　田川 英信 さん　木田 保男 さん
2月20日(木)13:30～　豊島区東部区民事務所(予定)
前半 生活保護　後半 年金問題

3）第2学習講座　ジェンダー・人権の視点から考える防災
講師　浅野 幸子 さん
3月4日(火)13:00～　東京都生協連会館
4）第3学習講座　マイナンバー保険証問題の本質と運動の課題
講師　寺尾 正之 さん
3月6日(木)14:00～　豊島区東部区民事務所(予定)
＊　詳細決定次第広報、ホームページ掲載　https://x.gd/tsudoi
＊　窓口担当団体を決め、実委事務局と共に、協力する団体個人にも声をかけて分科会・学習会を組織運営する。
5）全体会に参加せず、分科会、学習講座のみ参加する場合は、参加費500円　会場で当日集金
6）分科会、学習講座は、窓口担当団体が可能な場合はWeb配信を行う
分科会等のWebは、基本オープンとし、参加費は取らない

11　東京のつどい参加費・参加券について
1）チケットを作成する(資料代）チケットの扱いの詳細は別途定める。
2）１０００円のチケットで全体会と学習講座または分科会１つ参加できる
3）更に別の学習講座または分科会に参加する場合は、各５００円
4）全体会は残席がある場合は当日券を発行、当日券も１０００円
5）チケットを使わず当日受付を基本とする団体は、参加概数をあらかじめ予定し、独自の受付をおいて当日券を発行する形で運用し、チケットを事前に購入した団体構成員については当該団体で調整する
6）全体会Web会場、Web参加については、チケットを使わず、事前登録制にして、メールで申し込みを受け付け、終了後に参加費を集金する（日本高齢者大会Web参加扱い方式）全体会Web参加費は、ひとり1000円

12　財政
1) 財政は、基本的にチケット（資料代）代金でまかなう。カンパ、賛同金を訴える

13　宣伝・組織
1）決定版ちらし12月20日完成予定
チラシができ次第「参加要請書」・ちらし・「チケット扱いのお願い
を団体、地域に発送する
2）各団体、三多摩関係支部、三多摩関係組織の参加を厚くするよう要請する
3）各団体に連絡確認してチケットを送付、訪問してチケットを配布などし、1月半ばまでには、必要な個所へのチケットの配置を終える。
4）全体会講演の中心となる介護は、介護される当事者だけの問題ではない、平日という困難はあるが現役、青年の参加も呼び掛ける。

東京実行委員会連絡先　東京高齢期運動連絡会
tokyo.koureiki@gmail.com　TEL 03-5956-8781 FAX 03－5956－8782
〒170－0005豊島区南大塚3－1－12生方ビル4F
東京のつどいホームページ　https://x.gd/tsudoi